

第3回千歳市宿泊税検討委員会の開催結果について

1 開催概要

- (1) 日 時 令和6年9月6日(金) 13時15分～14時00分
- (2) 場 所 千歳市役所 第2庁舎2階 会議室3・4
- (3) 出席者

【構成員】6名 ※順不同・敬称略

公立千歳科学技術大学 顧問名誉教授	川瀬 正明 (委員長)
千歳商工会議所 専務理事	鈴木 隆夫 (副委員長)
一般社団法人千歳観光連盟 代表理事 会長	小田 賢一
支笏湖温泉旅館組合 組合長	佐々木 義朗
一般社団法人千歳観光連盟 ホテル宿泊部会 部会長	笹谷 俊尚
株式会社ノース・スター・トラベル 代表取締役	坂本 秀章

【千歳市】8名

観光スポーツ部 部長	林 伸一
観光スポーツ部 次長	藤田 聖樹
観光スポーツ部 主幹	小坂 孝男
観光スポーツ部 主査	村井 友紀子
観光スポーツ部 主査付 主任	神子 誠人
観光スポーツ部観光課 課長	小野 雅広
総務部税務課 課長	山田 浩之
総務部税務課課税管理係 係長	戸部 香菜子

2 議事概要

(1) 議事要旨

ア 「2 第2回検討委員会以降の経過報告」について
資料1、別紙①に基づき、事務局から説明を行った。
説明後の意見交換における発言要旨は次のとおり。

(ア) 意見交換の要旨

(A委員) 宿泊事業者用のアンケート調査の回答状況が、ホテル・旅館の種別で配布件数36件中22件の回答率が61.1%となっており、全体で49.2%となっている。回答がない事業者に対して、今後どのように進めていくのか。

(事務局) 今回、アンケートや説明会を実施した目的は、宿泊税の税額や課税用件について意見を徴収し、検討会において素案を作成するためのものであった。今後も説明会などを実施し、宿泊税の理解促進などは進めていく予定である。

イ 「3 議題 千歳市宿泊税検討委員会報告書（素案）」 について
資料2に基づき、事務局から説明を行い、全会一致で承認された。
説明後の意見交換における発言要旨は次のとおり。

(ア) 意見交換の要旨

- (B委員) 市の方針の中で特別徴収義務者の申告期限に、一定の要件を満たす場合は3か月ごとに申告納付が可能とあるが、要件の確認は1年経過後となるか。
- (事務局) 各施設の利用者の宿泊数などの利用状況を見て、要件を確認させていただいて適用することとなるため、1年経過後となる。
- (A委員) 特別徴収義務者報奨金は年間通して一括で支給されるのか。徴収と支給のバランスはどうか。
- (事務局) 納付後、支給というイメージだが、道税・市税等の事務手続き上、タイムラグは生じることになる。
- (A委員) 調整する側の目線も大事だが、事業者目線も考えて、簡便な方法かつ適切な方法でやっていただきたい。
- (C委員) 宿泊税の用途については、具体的にどのように決定していくのか。
- (事務局) 現時点の考えでは、宿泊事業者などを集めた検討委員会などで、毎年市と協議しながら決定していきたい。

ウ 「4 今後のスケジュール」 について

資料3に基づき、事務局から説明を行った。

なお、次回の第4回検討委員会で市長に報告書を提出することを確認した。

3 添付資料

- (1) 次第
- (2) 出席者名簿
- (3) 配席
- (4) 資料1 第2回検討委員会以降の経過報告
- (5) 別紙① 千歳市における宿泊税導入の検討に関するアンケート調査結果
【宿泊事業者用アンケート】
- (6) 資料2 千歳市宿泊税検討委員会報告書（素案）
- (7) 資料3 今後のスケジュール